楽しく学ぶ

新篠津村教育長
蜂屋　寿雄

新年、あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、益々ご健勝にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、本年が皆さまにとりましても本村にとりましても明るく希望に満ちた年でありますことをご祈念するところでもあります。

また、日頃より、皆さま方におかれましては、教育委員会の諸業務・諸活動等に対しまして、多大なご支援・ご協力をいただいております。この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。ありがとうございます。

本村においては、「早寝・早起き・朝ご飯」を呼びかけ「規則正しい生活・生活リズムの確立」の指導を進めてまいりました。

家庭や地域の皆さま方のご協力もあって、現在のところ惨な事件・事故や青少年の非行等はありませんが、子どもたちが安全に安心して生活できるようにいろいろな対策を講じる必要があると考えております。

とりわけ、「いじめ」問題などが大きく報道された直後から、小中学校と連携・連絡を図り協議を重ねてまいりました。その中で、次のようなことを確認してきたところであります。

・「対岸の火事」視しないこと。いつでも、どこでも起こりうる問題であるという認識に立つこと。

・一人ひとりの先生が児童・生徒一人ひとりに常に目配り・気配りし「変化」を見逃さないこと。

・校内の体制を常に点検し、一丸となって取り組むことができるようにしておくこと。

・日常の教育活動のより一層の充実に努め、その中で、先生と児童生徒とのより適切な人間関係の構築を図ること

・小学校と中学校の連絡・連携体制の強化を図ること。

・各家庭との連絡・連携をより一層、密にしていくこと。

子どもたちがこれまで以上に安全・安心に通学できる学校となるように、そしてこれまで以上に楽しく学ぶことができる学校になるよう、小中学校との連絡・連携を強化してまいりたいと考えています。

現在、小中学校では252名の児童生徒が、落ち着いた状態で学校生活を送っています。

中学校の3年生39名は100％進学を希望しており、全員が「十五の春」を祝意の中で迎えられることを願っています。また、4月には23名が小学校に入学の予定となっています。「ピッカピカの一年生」の登校を心待ちにしております。

昨年の11月23日、自治センター大ホールを会場に「新篠津村連合青年団弁論大会」が開催されました。「第69回」であります。このことに対しまして心から敬意を表したいと思います。

このことを基盤の一つに据えながら教育行政を進めてまいりたいと思います。

皆様のご支援を心よりお願い申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

謹賀新年

村長	東出　輝一
副村長	窪田　守
会計管理者	高橋　隆光
総務課長	古谷　直樹
参事（企画・商工観光担当）	吉田　光春
住民課長	白木　修一
主幹（医療保険担当）	伊藤　琢
産業建設課長	丸山　募
参事（建設担当）	佐藤　達也
教育委員会委員長	山元　栄
教育長	蜂屋　寿雄
教育次長	林　恵二
主幹（社会教育担当）	金兵　真人
農業委員会会長	髙橋　孝志
農業委員会事務局長	松村　修
選挙管理委員会委員長	三上　樹雄
代表監査委員	馬渕　博美
監査委員事務局長	小林　幸二
新篠津消防署長	南部　啓二
	他職員一同